

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	リハビリテーション概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	402号室
担当教員	中川 文子	実務経験と その関連資格	作業療法士として通所・入所・在宅(身障・小児・精神・老年)での評価・治療などの臨床実務経験がある			
《授業科目における学習内容》						
① リハビリテーションの理念・定義・歴史・対象・進め方について理解する ② 疾病・生活機能の概念と分類として国際生活機能分類(ICF)について理解する ③ 対象者の心理・社会的側面について理解する ④ リハビリテーションの諸相、連携について理解する						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験(筆記試験86%)、小テスト・レポート10%、平常点(態度・準備)4%で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
セラピストのための概説リハビリテーション [第2版] (文明堂) 授業ごとに資料配布						
《授業外における学習方法》						
・ 授業を理解するため、予習復習を通し、自主的に調べ学習をしましょう。 ・ 医学用語になれるために、わからない言葉は積極的に調べていきましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
復習してポイントを把握しましょう。歴史は、大まかな流れを把握し、今後の社会の変化によりどのようにリハビリテーションが発展展開されていくか見据える力もつけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの理念・定義・歴史・対象・進め方について理解する。		セラピストのための概説リハビリテーション(p. 1～15)配布資料	事前学習:シラバスの理解(10分) 事後学習:レポート課題(50分)	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションとは、作業療法とは? 作業療法士の活躍している現場				
第2回	授業を通じての到達目標	疾病・生活機能の概念と分類として国際生活機能分類(ICF)について理解する。		セラピストのための概説リハビリテーション(p. 16～24)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習	
	各コマにおける授業予定	疾病と障害構造。ICF(国際生活機能分類)について				
第3回	授業を通じての到達目標	対象者の心理・社会的側面について理解する。		セラピストのための概説リハビリテーション(p. 25～41)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習	
	各コマにおける授業予定	障害をもった人をどう理解し、接するべきか?対象者の心理・社会的側面。				
第4回	授業を通じての到達目標	チームアプローチについて理解する。		セラピストのための概説リハビリテーション(p. 43～67)配布資料	事前学習(10分):講義の事前学習 事後学習(50分):レポート課題	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション専門職の役割①PT・OT・ST				
第5回	授業を通じての到達目標	チームアプローチについて理解する。		セラピストのための概説リハビリテーション(p.68～104)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習	
	各コマにおける授業予定	医師・看護師・臨床心理士・義肢装具士・介護福祉士など。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	疾病・生活機能の概念と分類として国際生活機能分類(ICF)について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.106～119)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医療における評価。		
第7回	授業を通じての到達目標	疾病・生活機能の概念と分類として国際生活機能分類(ICF)について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.120～136)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医療の展開①		
第8回	授業を通じての到達目標	疾病・生活機能の概念と分類として国際生活機能分類(ICF)について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.137～163)配布資料	事前学習(30分): 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション医療の展開②		
第9回	授業を通じての到達目標	在宅・地域でのリハビリテーションについて理解する	セラピストのための概説リハビリテーション(p.164～184)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):
	各コマにおける授業予定	地域リハビリテーション		
第10回	授業を通じての到達目標	対象者の心理・社会的側面について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.185～192)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	障害を持つ人の心理と専門職としての対応		
第11回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション対象疾患について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.193～210)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション対象疾患について理解する①身体障害		
第12回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション対象疾患について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.211～219)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション対象疾患について理解する②精神障害		
第13回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション対象疾患について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.220～227)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション対象疾患について理解する③発達、老年		
第14回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの諸相、連携について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.228～244)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	社会資源の活用		
第15回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの諸相、連携について理解する。	セラピストのための概説リハビリテーション(p.245～)配布資料	事前学習(30分):講義の事前学習 事後学習(30分):講義の復習
	各コマにおける授業予定	関連法規		